

趣意書

【ご奉賛のお願い】

当深志神社では、来る平成二十六年に天満宮ご鎮座四百年を迎え、七月に大祭を斎行し、あわせて記念事業を計画しております。つきましては、その趣意書を掲げますので、なにとぞ皆様方よりの心厚きご支援・ご奉賛を賜りたく、お願い申し上げます。

当深志神社は、信州松本城下南深志の地四十八ヶ町の守り神さまとして「深志の天神さま」と、親しみと敬いをこめて称され、氏子・崇敬者の方々から篤く敬われております。さて、当社に天満宮をお祭り申しあげてから来たる平成二十六年（二〇四）には、ご鎮座四百年という記念すべき年を迎えます。

当社のご由緒は、はじめに宮村宮（諏訪明神）が信濃国守護小笠原貞宗公により暦応二年（三三九）九月九日にお祭りされました。のち、鎌田の地に小笠原長基公が京都の北野天満宮から応永九年（四〇二）に勧請されていた天満宮を、さらに松本城主小笠原秀政公が慶長十九年（六四）八月二十五日、宮村宮の隣に分霊をお迎えし、並び祭られました。

それよりのち、「学問の神様・天神さま」として歴代藩主・藩士をはじめ松本城下町町方の人々から広く仰がれ、篤い信頼と祈り・願い、そして崇敬のまごころが寄せられ、また地域・文化の発展に寄与してまいりました。

ご高承のように当社では平成十四年、氏子・崇敬者の皆様方の格別のご奉賛を賜り、ご祭神菅原道真公御正忌一千百年大祭と記念事業が盛大に斎行され、ご本殿以下の諸社殿が全面的に改修整備、一新され、以来、ご社頭の益々のご隆昌をみております。ことはまことに有難く、厚く御礼申しあげる次第です。

それよりそれほど歳を経ない時期であり、加えて昨年には三月に東日本大震災、六月には松本地方の地震被災という社会情勢やまた地域経済の状況を鑑みますと甚だ厳しい現況で、まことに心苦しい次第ではありますが、当社におきましては、この天満宮御鎮座四百年という記念すべき時に際し、今に相應しい奉仕の誠を捧げて広大無辺な天神信仰をさらに発揚し、そのご神徳が次代に継承されるよう尽力したい、と乞い願っております。

つきましては、神域・境内整備事業と神徳宣揚事業を主とする記念事業を、左記の通りの要項で計画いたしております。

氏子と崇敬者の皆様方には、この度の趣旨と意義にご理解あるご賛同を賜りまして、甚だご無理なお願いにて誠に恐縮に存じますが、氏神さまのご神徳と天神信仰の愈々の高揚、また地域文化の発展の為に、何卒格段のご奉賛を賜りたく幾重にも懇願申し上げる次第です。

天満宮御鎮座四百年祭 記念事業 要項

一、神域・境内整備事業	参道石畳・敷石改修、神苑・樹木整備、駐車場整備等	金	三千二百五十万円
一、神徳宣揚事業	菅原道真公童児像建立・神社誌刊行等	金	八百万円
一、その他	祭典・記念行事・諸費等	金	九百五十万円
		計	金 五千万円
◆奉賛金募財目標額	内訳	金	一千五百万円
	氏子奉賛目標額	金	八百万円
	特別崇敬者奉賛目標額	金	一千三百五十万円
	神社関係者奉賛金目標額	金	三千六百五十万円
	その他	金	一千三百五十万円
	神社拠出金等	計	金 三千六百五十万円

※問い合わせは下欄社務所まで

ふかし 深志神社社報 第14号

発行日 平成24年6月25日
 発行所 深志神社社務所
 〒390-0815
 松本市深志3丁目7番43号
 電話 0263-32-1214
 FAX 0263-32-5908
<http://www.fukashi-tenjin.or.jp>
 印刷 (株)日本広告

(6,000部)



ふかし

深志神社社報 第14号

深志神社は信州松本城下
 南深志の地四十八ヶ町
 氏子の守り神さまです



もうすぐ天神祭りです

【前夜祭】7月24日(火)

17:00～ 舞台曳き込み
17:00～19:00 日本舞踊奉納
19:00～ 前夜祭神事
20:00～ 奉納舞・詩吟・献舞

【例大祭】7月25日(水)

11:00～ 例大祭神事
13:00～ 穂高太鼓奉奏
14:00～17:30 御神輿御巡行
15:00～ お囃子スクール(演奏発表会)
15:30～ 舞台出発

還御した元禄神輿



浦安の舞



穂高太鼓奉奏



街中で行きあう神輿と舞台

前夜祭神事



八坂祭でお子様の 健やかな成長をお祈りしましょう

7月14日(土)・15日(日)

八坂祭は、梅雨が明け夏を迎えるに際して病気除けや虫封じなど子どもの健やかな成長を祈る祭です。14日の宵祭には霞につけた五色の幟を奉納する多くの子どもたちで賑わい、あわせて家族で家内安全を祈る姿が見られます。

三百年ほど前の元禄13(1700)年、松本地方に疫病が流行

した時に、疫病除けの神として信仰を集めていた尾張の津島神社(天王社)から分霊をいただいて祀られました。なお、五色の幟紙と霞はスパー、八百屋、魚屋などや当社でも扱っています。(浄書例)

奉納
八坂大(明)神
○(主男)・年生○歳(女男)〔氏名〕
○(主女)・年生○歳(女男)〔氏名〕



神前に霞・幟を奉納する子供、家族

松本深志舞台保存会だより《11》

去る5月24日、平成24年度の松本深志舞台保存会定例総会が開催されました。本年は役員改選の年で、総会に於いて新しい役員・会長が選任されました。新会長は小池町の関口隆男さんです。これまで3期会長を務められた的場文造さんに代つて、松本深志舞台保存会・第4代の会長に就任しました。

舞台保存会も結成より今年が18年目。最大の事業・平成の舞台修復事業もほぼ完了し、お囃子スクールなど恒例事業も定着しました。一方で昨年の松本地震から、舞台庫の耐震性が議論され

るようになり、修復した舞台の展示施設も含めて新しい課題が見えてきています。関口新会長はこの新しいステージで会をリードしていただくこととなります。

舞台修復は6月15日「本町5丁目舞台」が修復竣工しました。本町5丁目舞台は2階屋根根のない簡素な舞台です。人形もありません。しかし5丁目には、かつて舞台に載っていたという「天神さま」と呼ばれる人形が舞台庫に仕舞われおり、今回この人形を引出し、再び積載することになりました。ところが修復にあたり調査し

お神輿をお迎えしましょう

◆一年に一度のご神幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様の生活をご覧になると共に、氏子の方々が神様を身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。

◆中心市街地を巡られる元禄神輿は松深会の万燈神輿のあとに、また氏子全域を巡られる車載のお神輿は先触れの広報車が出て間もなく参りますので、家族そろってお迎え、おまいりください。家族の平安な姿こそ、神さまがもっともお喜びになります。



竣工式での本町5丁目舞台



修復が完了した中町3丁目舞台

深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

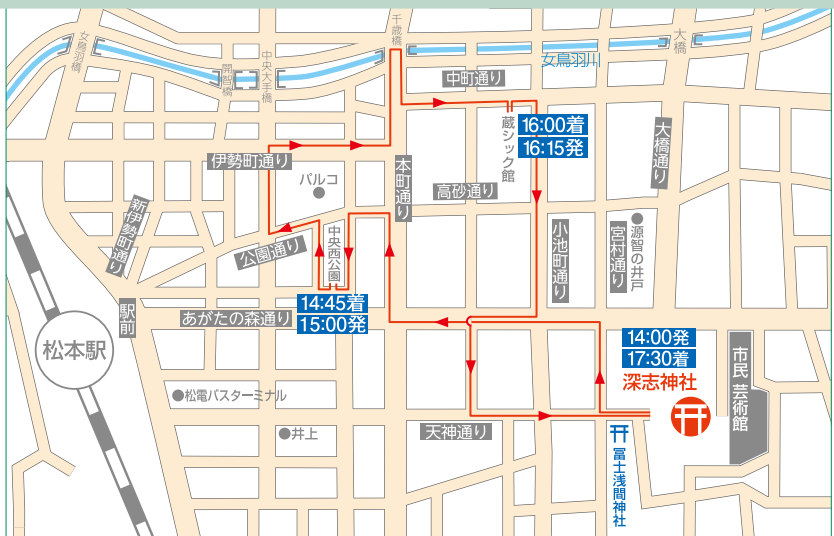
平成24年度 深志神社例大祭(天神祭り) 御神幸式 神輿渡御巡路A(車載) 宮村宮神輿 7月25日(水) 午後2時～5時30分

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとは隔年となります。本年は西(鎌田)先回りです。



【お注連についてお願い】
町内に張られた注連縄を取り外すのはお神輿が通られた後としてください。

元禄神輿渡御巡路B 天満宮神輿



信州松本松深会ほかの人たちの奉仕により、かつがれて渡御します。